



お花見会に53名 大震災救援募金へ18417円のご協力いただく

仲間ふやし年度目標達成の有本支部



3/30(水)若宮八幡神社で、有本支部の花見会が開催されました。今年は、開花が遅く、ちらほら咲いた桜の下で、支部が用意したお弁当とぶた汁をいただきました。満生地区担当理事から、有本支部の仲間ふやし年度目標の達成への労いが述べられました。坂口組織担当者は、3/21から、東日本大震災の被災地支援に入った報告を行うとともに、義捐金の協力を参加している組合員さんに訴えました。その場で募金箱をまわし、18417円のご協力をいただくことができました。



花見には、医学生も来て、地域の組合員さんの楽しい活動を体験することもできました。有本地域の民謡サークルをしている方々の踊りやカラオケが披露されたあと、福本支部長から、日頃の組合員さんの協力に感謝が述べられ、「今年もこういう楽しい活動を行なって、支部を盛り上げてください」とあいさつしました。

第2次・3次東日本大震災支援者報告会開く 生協病院では、看護師さんらが「なーすのカレー」バザー

3/29(火)第2次第3次に支援した丸山美樹看護師・坂口友亮東地区組織担当と瀧一洋薬剤師から報告がありました。「出会った子どもは多くはないが、笑うこともなく、泣くこともなく、ただ耐えている姿に胸が痛く、限りない不安を感じた」様子や、泉病院の現地スタッフとの回復期病棟での奮闘の様子を丸山看護師から報告され、坂口事務からは、避難所の訪問の様子や物資仕分けの業務について報告されました。車も家も流された方々との対話やテレビで知ることのできない実態が話されました。3/20頃の状況としては、支援も多く入り始めていたが、現地のスタッフも疲労が募り、インフラ整備も整わない状況が報告されま



した。また、瀧薬剤師からは、坂総合病院の前のつばさ薬局に700名もの患者が押し寄せる中で、「薬剤師として調剤するということの役割」を改めて実感した様子や日々変わる状況などへの対応などが話されました。今後の支援継続が必至な状況が報告され、12卒医学生の実習中の学生の参加含め、30名弱の参加者でした。

また、看護師長室を中心に、支援活動として、昼食時に「なーすのカレー」を販売しました。職員ら130人を超える人が協力し、その売り上げ65000円全額、義捐金として被災地にとどけます。

高校生1日看護師体験に70名

春休みを利用して、高校生1日看護師体験がはじまっています。県下、南は田辺、北は橋本から、4日間で70名が看護体験します。当事務所でも、医療生協の活動などを紹介。ぜひ看護師になって、生協病院にきてねと熱いエール



2010年度仲間ふやし状況																								
	東地区			中地区			南地区			河西地区			那賀地区			南海海草地区			その他			計		
	目標	到達	残	目標	到達	残	目標	到達	残	目標	到達	残	目標	到達	残	目標	到達	残	目標	到達	残			
4/1~12/31	500	304	196	100	16	84	100	57	43	100	51	49	100	46	54	70	54	16	30	31	0	1000	559	441
1/1~31		18	178		2	82		2	41		8	41		3	51		1	15		1	0		35	406
2/1~28		30	148		0	82		10	31		4	37		3	48		2	13		1	0		50	356
3/1~31現在		56	92		2	80		9	22		6	31		1	47		13	0		3	0		90	266
		408	92		20	81		78	22		69	31		53	47		70	0		36	0		734	266